

## 編集後記

◆ 明けましておめでとうございます。一年の初めとなる新年号と2月号は、昨年的一大イベントであった第1回目の「地質の日」を特集してお送りします。日本国中で様々な行事が開催されたものですから、1冊では収まらず、2回に分けてその模様をお伝え致します。

◆ 最初に、地質調査総合センターの加藤代表から、年頭の挨拶をいただきました。激動の時を迎え、まさに「温故知新」の当センターの意気込みを、読者の皆様にご理解いただくと共に、ご協力を宜しくお願い致します。

◆ さて、記念すべき「地質の日」元年を特集しようと、中尾「地質の日」事業推進委員会委員長が中心となって各地の関連機関に呼びかけたところ、多くの方々のご賛同・ご協力をいただき、新年の刊行にこぎつけることができました。関係者に感謝致します。委員長ほかのとりまとめに続き、北から順次報告していきます。

◆ 初めは北海道から、石井氏ほかによる「北海道地質百選」の話題で、住民に地球科学と環境問題に関心を永く持ってもらうために地元の地質を利用する試みは、他の地域でも活用できる良い例となるでしょう。鈴木氏ほかは、北海道立地質研究所で行った地域に根ざした研究活動と広報活動を紹介しています。在田氏は北大総合博物館で開催された「ライマンと北海道の地質から-北からの日本地質学の夜明け-」で、地学史の展示の模様を伝えています。地元の名前のつく石などは住民に親しみが湧き興味深いもので、鈴木・土屋両氏は、山の手博物館で開催された「北海道の地名のついた石展」の報告をしています。

◆ 東北地域では、日本の地質学の黎明期に作成されたナウマンの予察地質図「東北部」の岩手県立博物館での展示と解説について、大石氏が紹介して下さいました。

佐々木氏は、久慈琥珀博物館の記念事業として行われた琥珀採掘体験フェアの盛況な模様を伝えています。同じ体験でも、文学者で地質学者でもある宮澤賢治を偲ぶ「宮澤賢治ジオツアー」の模様を、岩松氏が紹介しています。高橋氏は仙台で行われた鎌倉山の巡検について報告しています。いずれも市民に地質を伝える努力と工夫が伝わります。

◆ つくばでは、産総研で開催された学園都市の地質の展示説明会の模様を斎藤・若松両氏が、筑波山での野外観察会の模様を宮地氏ほか、つくばフェスティバル2008での「移動地質標本館」の様子を吉田氏が報告しています。また、地質の日記念グッズとして化石チョコレートが製作・販売された経緯について利光氏ほかで紹介しています。「黄鉄鉱ひろい」イベントの顛末も、柳澤氏ほかが伝えています。

◆ 関東地域では、地質学の重要性・技術の伝承・若手後継者の育成を意図する3回の講演会と、箱根火山の地質見学会の模様を中山氏ほかで紹介して下さいました。千葉県立中央博物館で開催されたそれぞれ2回のワークショップと観察会の報告を高橋氏ほかから、国立科学博物館での化石レプリカ作りのイベント報告とそのプログラムについて原田氏ほかから紹介して下さいました。埼玉県立自然の博物館で開催された、地元長瀨を中心にした講演会と地質観察会について楡井氏ほか、横須賀市自然・人文博物館で開催した城ヶ島の地層の観察会について柴田氏ほか、相模原市立博物館における展示と地質学講座について河尻氏が、盛況な模様をそれぞれ報告して下さいました。

◆ どの記事も次回の地質の日に活用できる情報を多分に持っています。次号もご期待下さい。(金井 豊)

### 地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 渉

委員：藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第653号	2009年	1月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2009年1月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年（IYPE）に賛同し、活動を支援しています。

● 本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

● 地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2009 Geological Survey of Japan